

Onna Village Assembly

第6回恩納村議会定例会 平成22年6月8日・9日

一般質問

今回の一般質問の状況

〔〇は今回掲載された質問です〕

<p>山内 鈴子 議員 ☎964-3468 P-6</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学童保育について ○障害者福祉について ○環境行政について 	<p>喜納 正誠 議員 ☎964-2580 P-9</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光振興について ○基地問題について ○少年院誘致の件について ○村長選挙について
<p>長浜 善巳 議員 ☎965-2100 P-6</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達障がい児支援について ○子どもの居場所づくりについて 	<p>山城 郁夫 議員 ☎966-8300 P-10</p> <ul style="list-style-type: none"> ○恩納村墓地整備基本計画の見直しについて ○新たな墓地用地の確保について
<p>仲田 豊 議員 ☎967-8338 P-7</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉行政について ○防犯灯LEDについて 	<p>宮崎 豊 議員 ☎979-5635 P-10</p> <ul style="list-style-type: none"> ○CAP（子どもへの暴力防止）ワークショップの定期的な開催について ○省エネに関する取り組み計画はありますか ○赤土の海への流出を防ぐ対策はどのように取られているか
<p>植田 良介 議員 ☎966-8448 P-8</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元建設業を支える施策について 	<p>長嶺 律夫 議員 ☎966-2750 P-11</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奨学資金について ○癌予防について ○下水処理施設について ○計画道路について ○意見書の扱いについて
<p>當山 君子 議員 ☎967-8508 P-8</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族介護支援事業について ○安定的な農業担い手の育成について 	<p>吉山盛次郎 議員 ☎965-0669 P-12</p> <ul style="list-style-type: none"> ○真栄田地区のかんがい施設について ○学童保育について

議会会議録は議会事務局、各字公民館でご覧いただけます。
また、村ホームページ（会議録）からも検索できます。

■発行：恩納村議会 ■編集：議会広報委員会
住所：沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番 電話：(098) 966-1199
メールアドレス：gikai@vill.onna.okinawa.jp

山内 鈴子 議員

学童保育について

山内鈴子

あかんちゃ学校、クジラ隊と現在土地は賃貸借地で建物はブレハブの状況です。将来を担う恩納村の子ども達のことを勘案した場合、これから土地の確保、建設計画の予算確保についても取り組むべき問題だと考えるのですが、学童保育事業に対しての今後の計画について伺います。

答 福祉健康課長（金城尚子）
土地の確保、新たな建設計画はありません。

山内鈴子

現在ある2施設の地権者との契約は5ヶ年契約の借地だと思えます。契約が切れた場合行政はどのような支援をし、建物に對しての考えを伺います。

答 福祉健康課長（金城尚子）
土地の確保に困った場合は一緒になって考えていきます。

村長（志喜屋文康）

放課後の学校活用、公民館の活用含めて考えていかなくちやいけない時代と捉えております。

障害者福祉について

山内鈴子

地域活動支援センターの作業所は当初建設の際は、ひさしをつける計画がなぜ建設計画を変更したのか。

答 建設課長（古賀弘之）
補助事業等の関係により計画変更となった。

山内鈴子

村社会福祉協議会に指定管理を委託されているといえ、障害者の社会復帰や自立、社会参加を図る働きやすい環境に努力するのが行政としての務めだと思えますが、完成した作業所は100%の出来だと評価されているのか。

建設課長（古賀弘之）

100%とは申しませんが限られた予算の中で最大限の効果を出せるのが我々の使命です。

山内鈴子

県内で作業所を建設された自治体においては当然トイレは設置されています。それが障害者福祉への配慮だが恩納村では、福祉センターまで行ってトイレを利用している状況についてどのように考えているのか。

答 村長（志喜屋文康）
運営している社協と論議して考えます。

長浜 善巳 議員

発達障がい児支援について

長浜善巳

発達障がいと診断された未就学児、その疑いがあるとされる就学児の相談体制と支援体制は。

長浜善巳

保健師2名体制から4名体制。また、心理士を配置し、気になる子については心理相談また、訪問し、常に保育士と保健師の連携を図っております。

福祉健康課長（金城尚子）

発達障がい児の早期支援に関する支援事業などの障がい福祉サービスを提供。障がい児保育事業、また障がい児を抱える親の集いである彩虹の会の支援を行っております。

長浜善巳

発達障がい持っている子どもは6%いると言われております。実際には見過ごしている子ども達も私はいるのでないかと思っております。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）
特別支援教室に行ったほうがいいと思われ方もいらっしゃる。保護者の理解が得られない

ために適切な措置ができない。この辺が発達障がい教育を進める上での大きな課題。

質 長浜善巳

発達障がいのある子どもが学校に入学してから父母を理解させるにはかなり困難がある。幼児期の早期発見、早期支援の大切さを訴えたい。

答 村長(志喜屋文康)

職員間の意見交換とか勉強会、研修含めて検討させていきたい。

子どもの居場所づくりについて

質 長浜善巳

学校には熱血な教師の方々があります。職務とは関係なく熱心に行動しております。その先生や父母や地域の方々が連携してスポーツも取り入れながら子どもの居場所づくりを考えてもいいと思うが。

答 学校教育課長(津嘉山 弘)



一つの事例として、各学校に紹介したい。紹介しながらいい方向性にもっていかねばいけません。学校に押し付けるのではなく父母の皆様も積極的に参加していく姿勢を持ってほしい。

仲田 豊 議員

福祉行政について

質 仲田 豊

女性特有のがん検診受診を50%に上げる目標に対策が講じら

れている。村内の検診状況はどうなっているか。

答 福祉健康課長(金城尚子)

村内の受信率が平成20年度は20.8%、21年度はクーポン券に伴い入院、治療中対象者含んだ14.8%となり、人数は平成20年518人、21年534人と増えております。

質 仲田 豊

クーポン券の有効期間。どういうふうに登録されているか。

答 福祉健康課長(金城尚子)

期間は6ヶ月になっており、22年度は8月から23年1月までで、対象者に郵便で発送していただきます。

質 仲田 豊

クーポン券、村独自で発送されているのか。

答 福祉健康課長(金城尚子)

村独自で発送しており、容易に確認できるよう、公印を押し混同しないよう色も変えております。

質 仲田 豊

村外に移転、村外から転入した場合のクーポン券の取り扱い

答 福祉健康課長(金城尚子)

平成22年4月22日を基準に発送しており、転入は前市町村の券で対応になりますが、本人申し出により村発行も可能となり、転出は村発行の券を利用できません。

質 仲田 豊

病院で無料となる検診内容は、

答 福祉健康課長(金城尚子)

内容は、子宮がん検診で問診、指診、子宮がん部細胞。乳がんは視触診、マンモグラフィ検診となります。

防犯灯LEDについて

質 仲田 豊

LED防犯灯は蛍光灯と比べエネルギー効果と耐久性に優れ、明るさ省エネと維持管理、経費節約が期待され地球温暖化、次

世代エネルギーと高く評価されている。計画はあるか。

答 総務課長(外間 毅)

現在、計画ありません。地球温暖化の面から予算の範囲内において推進する必要があると考えております。これから整備計画については区長会と協議しながら今後検討してまいります。

植田 良介 議員

地元建設業を支える施策について

質 植田良介

村のこれからの形、地域づくりを考えたときに、持続可能な構造づくりが必要。地域の中で投資主体を強め、内需を拡大し、地域内の経済循環をつくり出すことが大事。そのために、地域にある資源を活かしていく政策が求められてくる。本村の場合、地域経済主体として、農漁業、観光業とともに建設業がある。

建設業界を見ますと、受注量の減少、価格競争、利益率の低下で、経営の危機が深刻化している。そこで伺いますが、本事業所が村内にある事業者が何社あるか。

答 建設課長(古賀弘之)

30社です。

質 植田良介

従業員数は、

答 建設課長(古賀弘之)

154名です。

質 植田良介

雇用の受け皿という側面では大きなウエイトを占めているのではないか。

答 村長(志喜屋文康)

大変大きいと考えております。

質 植田良介

歴史的にも住民生活の安心安全を確保するハード面を担ってきた。農漁業とともに地域社会の活動の基礎的部分を担ってきた。地域社会の担い手としての役割は重要だと思いますが。

答 村長(志喜屋文康)

本村の社会資本整備、そして建設業者会との協定に基づく災害時緊急対応があり、村との協定という形では初めてのことであり、これがひいては安心安全なまちづくりの担い手としての事業であると考えている。

質 植田良介

さらに地元建設業を支える具体的な施策を検討すべきではないか。

答 村長(志喜屋文康)

総合事務局との意見交換会で村ができることを考えていかなくっちゃいけないと申し上げてきたんです。建設業新分野教育訓練助成金が厚労省から予算化されていると聞いており、業者の育成について考えていかなくちやいけない時期にきたのかなと思います。

答 福祉健康課長(金城尚子)

地域包括支援センターの訪問とおして、介護方法のアドバイスや精神的な支援など個別的に対応してきます。今後、家族介護者教室の開催は考えているところですが。

當山 君子 議員

家族介護支援事業について

質 當山君子

村人口1万401に対し高齢者2千109で高齢化率20.3%、要介護認定者が444、高齢者全体から見ますと認定率21%、ほとんどが脳卒中、心筋梗塞、転倒骨折、関節疾患等生活機能低下の高齢者を介護している介護者に対し、介護方法や介護予防、身体的精神的な負担軽減と介護者自身の健康について学習したいという声があります。家族介護教室の開設はできないか。

答 福祉健康課長(金城尚子)

地域包括支援センターの訪問とおして、介護方法のアドバイスや精神的な支援など個別的に対応してきます。今後、家族介護者教室の開催は考えているところですが。

質 當山君子

介護者同士の親睦を図る家族介護者交流事業の実施はできないか。

答 福祉健康課長（金城尚子）

来る6月18日に家族介護者の交流会の実施を予定しています。今後、定期的に開催し社会福祉協議会を中心として交流事業を支えていきたい。

質 當山君子

新規認定農業者育成と再認定更新への啓発活動は。

答 農林水産課長（大城哲夫）

農業委員会、農林水産課は該当農家等々に声掛けし説明等も行っており、今後農業委員会だより村広報等通じ啓発していきたい。

質 當山君子

認定農業者協議会の結成は。

安定的な農業担い手の育成について

質 當山君子

農業生産経営において、農業担い手の減少、農業従事者の高齢化が深刻化している今日、農業担い手である女性も農業経営に参画し安定的な経営体、経営改善の支援も重要である。認定農業者で女性認定農業者何名か。農林水産課長（大城哲夫）



答 農林水産課長（大城哲夫） 村には恩納村担い手育成支援者が内5。

協議会が立ち上げており、その認定農業者育成を位置づけて支援活動している。

質 當山君子

家族経営協定の締結数は。

答 農林水産課長（大城哲夫）

現在9。

喜納 正誠 議員

観光振興について

質 喜納正誠

無料送迎について、これは客引きキャッチというのは観光地では好ましくない。やもすれば法外な料金を取られ泣く客もいると一見様を狙った無料送迎の客引きは村のリゾート地としてのイメージが悪くなる。対応お聞かせ願いたい。

答 村長（志喜屋文康）

その施設への立ち入り調査という商工会主体にして規制の在り方を検討する。

基地問題について

質 喜納正誠

普天間の危険性を除去し名護市に持っていくという流れが10何年前からあったんであります。今の現状をどう解決してほしいか村長の考え方。

答 村長（志喜屋文康）

4月25日の県民大会は県外国外であり、5月28日の共同声明は辺野古移設。大変遺憾なことだと受け止めております。

村長選挙について

質 喜納正誠

早々の意思表示を、3期目に村民をどう幸せに引っ張っていくんだと、その思いがあればお聞かせ願いたい。

答 村長（志喜屋文康）

自然環境を維持しながら、独自性を発揮した村づくりをやっていききたい。

宮崎 豊 議員

CAPワークショップの定期的な開催について

質 宮崎 豊

全ての子どもが安心・自信・自由を。教育委員会が主催した素晴らしい企画。

答 社会教育課長（仲村敏安）

今後は各校区で団体等に声をかけ、継続事業という提案をしていきたい。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）

各地域支部で活動できる予算を付けてあり是非とも取り組んでいけるよう支援していきたい。

省エネに関する取り組み計画はありますか

質 宮崎 豊

地球温暖化が叫ばれる今日、恩納村はどのような対策、計画

新たな墓地用地の確保について

質 山城郁夫

資料の丸で困っております所が、七つ墓とっております。丸で示した墓地から離れた所に色塗りして、墓地集積希望と塗ってあります。その付近に墓地の集積が出来ないか。そこなら現在保安林に点在している置き墓の持ち主も移動したいと、多くの区民から要望があります。計画を進める気はありますか。

答 村民課長（仲西智直）

資料で示した箇所に墓地の集約が出来ないかということですので、回答として資料の場合は、個別法、国定公園第2種特別地域、生活環境保全整備事業が県の事業で入っており、法律がかぶさっている。除外可能か県の意向を確認しその後調整したい。

質 山城郁夫

中間年次に当たる5年ごとに計画、墓地区域の指定、見直しを行なうとされており、今年度が該当します。どのように進められているのか。

答 村民課長（仲西智直）

行政区からの要請、がある場合に調整、検討することになっている。早い時期に行政区へ通知をしたい。

山城 郁夫 議員

恩納村墓地整備基本計画の見直しについて

質 山城郁夫

自己採点、85点ぐらいの成績をつけたい。

答 村長（志喜屋文康）

喜納正誠 長たる者、自分で採点付けられますか。

質 喜納正誠

喜納正誠

質 山城郁夫

恩納村はどのような対策、計画